

琉球大学コアファシリティ構築事業シンポジウム等 参加

令和4年12月2日(金) (現地)国立大学法人琉球大学 50周年会館, (オンライン)ZOOM

外崎 剛, 河本 直哉

分析技術課

1 はじめに

琉球大学において、より優れた技術職員を確保し教育、研究の発展と地域貢献に寄与することを目的とした『総合技術部』の設立を目指しておられ、教育・研究推進に必要な技術・知識を持続的に提供できる人材育成・研修制度について、各大学の事例を紹介し、今後求められる技術職員像について議論します。

2 スケジュール

令和4年12月02日(金)10:00~17:00

- 基調講演 江端新吾 先生 (東京工業大学 TC カレッジ長)
- 第2部 パネルディスカッション
- 琉球大学研究基盤統括センター見学
- 琉球大学技術職員シンポジウム

3 内容

- 基調講演 江端新吾 先生 (東京工業大学 TC カレッジ長)
- 第2部 パネルディスカッション

「技術職員の育成・研修について考える」

島貫瑞樹 先生 (沖縄科学技術大学院大学 研究リソースシニアマネージャー)

長井圭治 先生 (金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 特任准教授兼 URA)

岡征子 様 (北海道大学 グローバルファシリティセンター機器分析受託部門/設備リユース部門 部門長)

渡邊政典 様 (山口大学 総合技術部 部長)

屋比久裕盛 様 (琉球大学 工学部技術部 技術長)

求められる技術職員像や技術職員に求められていることなどから、技術職員の育成・研修体制に関して議論を行いました。

技術職員の育成や研修に関しては、コミュニケーションスキル、OJT や技術研修、セミナー受講、技術研究会等への参加、技術職員の大学間相互交流(研修)を促進、マネジメントスキルなどが挙げられていました。コミュニケーションスキルに関しては、現場で働く上で必ず必要となるスキルであり、マネジメント系のスキルも組織化による技術提供を行うためには必須なスキルでもあります。また、技術職員が自律的にスキルアップや成長できる仕組み作りも大切であること、仕組みづくりのためには執行部や研究者の理解や協力も必要、という意見もありました。

- 琉球大学研究基盤統括センター見学

琉球大学研究基盤統括センターに設置されているX線回折, X線構造解析, 質量分析, 核磁気共鳴, SEM, 有機微量元素分析, TG 等の測定装置の見学を行いました.

- 琉球大学技術職員シンポジウム

技術支援依頼, 技術職員組織, 予算, 評価等について議論がありました.